

第36回運営委員会 7月20日(木) 18:30~21:30

- ◆ 会場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室
 - ◆ 出席委員：新野・渡辺（丈）・石田・川口・佐藤・三宮・武本・渡辺（五）委員…8名
 - ◆ オブザーバー：地域担当官事務所／沼田所長
 - ◆ 事務局：柏崎市／名塚係長 広報センター／押見事務局長・木村
-

エネルギー政策の説明について

- 沼田所長より
 - ・ 8月の定例会にて説明ということだったが、9月の定例会にてお願いしたい
 - ・ 原子力政策大綱の政策を実現する方策について資源エネルギー庁にて検討しており、次回定例会では最終結論までに至っていない。意見募集の締め切りが本日ということで、案としても提出できないので、説明の機会を延ばしてもらいたい。
- 委員より
 - ・ 専門的にならず、一般的な話でお願いしたい。
 - ・ 議論の中で、もんじゅの位置づけみたいなものも含んでももらいたい。9月の最初であれば、末にある視察にも間に合うわけで、いいのではないか。
 - ・ 高齢年化の問題の一つの中に原子力も古くなっていくということがあるわけで、代替をどう考えているのかということも話してもらいたい。

第38回定例会内容について

- 再循環系配管について
 - ・ 4号機の再循環を切るという話があって、1号機は傷があるがそのまま、3号は今年は様子を見て来年切ると。新聞によると、1号の傷よりも4号機のほうが傷が浅いということらしい。前回、保安院より検査での判断が難しいというような話もしていたが、言っていることとやっていることが違うのではないかという思いがある。
 - ・ 維持基準というなら、その基準はなんなのかという疑問がある。
 - ・ なぜ、今回中途半端な傷のものに手を出すのかというあたりが疑問。
 - ・ 新しい検査制度が確立されて間違えることはないと言った後、福島で間違いがあり、柏崎でも調べろということで調べて、1号機に関しては傷があるけれどいいんだということで動かした。今回の1つは切って、1つは来年切るといような話が一贯していないように思う。
 - ・ 福島の場合、維持基準で合格しているはず。維持基準がだめだという話も1つにあるので、議論する必要はある。
 - ・ 合格させた保安院、それをどういうふうになおしたかというあたり話をしてもらいたい。
 - ・ 再循環ポンプに付随する問題というのはずっと続いていることなので、きちんと明らかにしてもらいたい必要がある。
 - ・ 質問を投げかけるときに、何年か前にこういうことがあって、こういう経過の中でというような言い方をする必要もある。
 - ・ 保安院と東電から説明をもらったかどうか。

➤ 被ばくの件について

- 下請けの人が想定外の被ばくをしたという件があったが、これも議論の対象になるのではないかな。
- 過去に問いかけた事に関して、会としては、継続してどうなっているかの追跡をする必要が役割としてあるのではないかなという意見も以前にあった。労務管理に関しても、こうしますと言ったことが本当にできているのかどうか、定期的に確認する必要があると思うが、時間的制約もありできずにいる。
- 被ばくの件に関しては、何次の下請けでどれくらいの訓練をした人なのか。どこの誰というところまではいいので、どれくらいの経験の人なのかあたりは聞かせてもらいたい。
- 下請けと孫請けの関係で、きちんとした指導内容にするというようなことを以前聞いたが。
- 以前、4000人の従業員一人一人に徹底させるのは難しいという話があったが、今どの程度までできていると自覚しているのか、説明してもらいたい。
- 下請けの教育訓練をどのようにしているのか。その切り口として、今回の被ばくを受けた人が何次下請けで、どれくらいの経験と理解のある人なのかを聞けばいいのでは。
- どれくらい徹底していたのか、これからどう徹底するのかという説明もしてもらいたい。
- 被ばくの件を切り口に、労務管理やら下請けの管理が今どうなっているのかということを開けばいいのではないかな。
- 東電は1次下請けまでにしか言われなかったと言っていた。下請けと孫請けなどに関しては労務管理の指導をしたというふうに以前聞いた。孫請けと言われる最終段階の労務管理も東電さんの範疇だと思っているので、その辺がどうなっているかという聞き方をすればいいのでは。

➤ 検査制度の改善案（保安院）に対するパブリックコメントについて

- 地域の会としてまとめるのであれば、委員には早めに配布しておいたほうがいいのではないかな。
- 個々でこの内容を理解して、意見を出せるのか疑問。
- 次回定例会の際に説明をもらわないと判断できないのではないかな。
- 説明を聞くために別の時間をとるのであれば、次回定例会の中に説明の時間をとったほうがいい。
- 次回定例会にて、今の問題点がどういうことか、改善する点はどういう点かというあたりを簡単に15分程度で説明してもらおう。
- 集約の方向性として、運営委員でまとめるのか、個々で意見を出すのか。
- 定例会において、会としてまとめた方がいいという意見があれば、運営委員のほうでまとめればいいのではないかな。
- 内容は難しいが、検査制度の改善というのは大事なこと。
- 改善は誰にとっての安全なのか、安全がおろそかにならないように…というような内容のまとめ。
- 資料は事前に委員に配布し、次回持参してもらおう。
- 再循環系配管の件は、この改善案の説明の中に含まれることでもある。

その他

- ・ 浜岡の ABWR のタービンが壊れ、志賀もだめだったと。かなり長期間 1 3 5 万程のものが止まるという現実がある。こういうことで安定エネルギーと言えるのか。改良したものがそういう風になったということは、ハフニウムの特と似たような感じがする。大丈夫なのかという思い。エネルギー政策の話と構造の話の両方になるが。

【決定事項】

- メインは、管理被ばく線量超過の件・3, 4号機再循環系配管の取り扱い・検査制度の改善案について。
- 検査制度の改善案については質疑応答含めて30分程度。
- 地盤調査については時間があれば、東電から。
- 山古志の視察の経過報告・・・渡辺(丈)委員から感想・・・前回からの動きの最後に。

9月、10月定例会について

- 9月定例会…7時開始
 - ・ エネルギー政策についての説明
- 10月定例会…6時半開始
 - ・ 視察の感想

視察について

- ・ 次回定例会にて詳細を配布。
- ・ オブザーバーにも参加を打診する。東電は随行が条件とのことで参加。
- ・ 9月6日の定例会くらいまでに参加希望の返事をもらえば間に合う。8月末くらいまでに参加の回答をもらえばいいのでは。

出張定例会について

- ・ 10月を西山で、11月を刈羽で開催したらどうか。
- ・ 事務局にて、会場を確認。西山→いきいき館。刈羽→改善センター。
- ・ 10月、11月定例会は6時半開始。

情報共有会議について

- ・ 2月に設定。

視点について

- ・ 編集後記→武本委員。
- ・ 次回運営委員会は8月22日(火)6時半。
- ・ 6月、7月定例会の内容を掲載。
- ・ 会議録の中の横文字の説明は括弧書きで記述する。

現場視察について

- ・ 被ばくに関連、制御棒関連の現場視察。
- ・ 次回定例会にて、全委員に視察したい現場があれば意見を聞く。
- ・ 現場に入れるタイミングもあるので、時期は東電にも検討してもらおう。